

令和元年度 第2回 射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (議事録)

日時 令和元年6月5日(水)

午後2時20分～2時50分

会場 射水市役所 3階 302会議室

【議題】

(1) 脳いきいき健康講座について

資料1説明(事務局)

(2) 認知症初期の人を早期に相談支援に繋げるための方法について

資料2説明(事務局)

【意見交換】

・脳いきいき健康講座では、参加者が認知症についてどう考えるのか等の行動につなげるためのグループ討議の時間は組み込まれているのか。知識だけの講座だと、なかなか行動に結びつかない。行動に結びつけるための方策を考え、講座に取り入れたらよいと思う。

(認知症の普及啓発に関するポスターを掲示について)

・今年度、市では地域包括支援センターの普及啓発ポスターを作成し、歯科医院や薬局に配布した。認知症の普及啓発においても、早期相談を呼びかけるポスターを作成できればと思っている。

・歯科医院に地域包括支援センターのポスターを貼っているが、患者はあまりポスターを見ていない。文章が多いため、あまりインパクトがない。また、医院には高齢の患者が多いが、認知症の方は病気を隠す傾向にあると思う。

・認知症の本人は病気に気付いていないことがある。そのため、本人はポスターを見ても自分のこととは思わない。付き添いの家族が気付くことはあるかもしれないので、“これがあつたら認知症”という1点でわかるようなものがあれば啓発につながるかもしれない。

・ポスターによる啓発は、認知症の方へではなく、「親は大丈夫？」とか「あなたの家族は大丈夫？」というように周囲の方へ注意喚起するほうがよいのではないか。若い世代に自分の親を想定して知ってもらえるとよいと思う。

・「お薬飲んでいるか時々確認しよう」や「入れ歯を入れられなくなっていない？」とか関係者の経験から分かる日常にみられる認知症のチェックポイントがあると家族の気付きになるのではないかと思う。家族でしか気付けないこともある。

・認知症に理解のない家族もいるが、家族の関わりは大切である。家族のサポートが得られるように繰り返し啓発することが必要である。

令和元年度第2回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 令和元年6月5日(水)

午後2時20分～2時50分

会場 射水市役所 3階 302会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 脳いきいき健康講座について

資料1

(2) 認知症初期の人を早期に相談支援に繋げるための方法について

資料2

3 閉 会

脳いきいき健康講座について

資料 1

(1) 事業趣旨・・・別紙(実施要領)参照

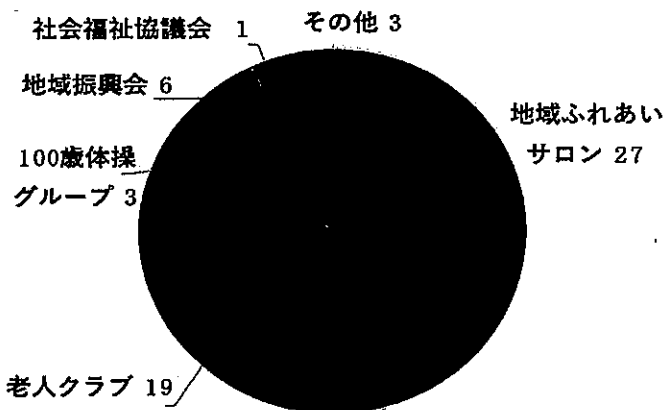
(2) 平成30年度実施状況

ア 担当別実施回数

担当	回数	受講者	アンケート回答数
新湊西地域包括支援センター	11	246	212
新湊東地域包括支援センター	3	58	58
小杉・下地域包括支援センター	11	237	196
小杉南地域包括支援センター	10	138	106
大門・大島地域包括支援センター	11	251	221
地域福祉課	9	494	175
保健センター	4	98	83
合計	69	1522	1051

イ 実施団体

(団体)



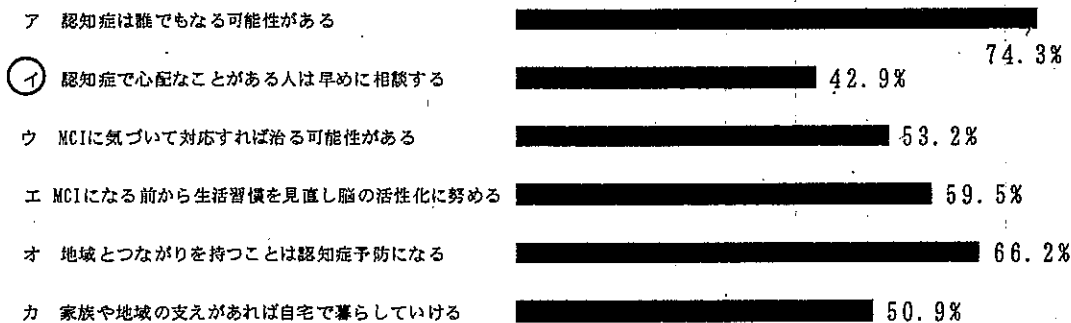
ウ 団体別の受講者数

(人)

団体	受講者数
地域ふれあいサロン	459
老人クラブ	498
100歳体操グループ	80
地域振興会	187
社会福祉協議会	36
その他	262

エ アンケート結果

講義で印象に残ったことは何ですか？ (複数回答可)



「イ: 認知症で心配なことがある人は、早めに相談する」という理解が半数以下と低い。

認知症初期の人を早期に相談支援に繋げるための方法について

(1) 先進的な認知症対策に取り組む自治体例

ア 栃木県

認知症サポート医が在籍する医療機関に「認定プレート」や「広報用のポスター」を掲示し、認知症に関する取組みをアピールしている。

イ 愛知県

認知症の人と接することが多い小売業や金融機関、公共交通機関を対象に認知症対応プログラムを開発し、普及活動を展開している。

ウ 北海道 砂川市

認知症の相談窓口として地域包括支援センターや認知症サポート医以外に「調剤薬局」も相談先として、相談を実施している。

(2) 認知症初期の人を早期に相談支援に繋げるための方法（案）

- ・脳いきいき健康講座で、早期相談の必要性についての理解を深めるため、講義内容の見直しを図る。
- ・歯科医院や薬局などに認知症についてのパンフレットやポスターを掲示し、気になる方がおられたときに地域包括支援センターに相談してもらうよう体制を整える。
- ・保健センターのがん検診等で、若年層に対し、認知症の普及啓発を行う。

脳いきいき健康講座（出前講座） 実施要領

1 目的

認知症や軽度認知障害（MCI）についての正しい知識の普及を図り、軽度認知障害（MCI）の疑いのある人、認知症について不安のある人及びその家族等が、相談や受診等、早期に適切な対応を行うことができるよう支援を行う。

2 対象者

射水市内に住所を有する概ね65歳以上の高齢者

3 実施期間

4月1日から翌年3月31日

4 実施方法

老人クラブや地域ふれあいサロン等の依頼により市や地域包括支援センターの職員が出向き、脳いきいき健康講座（出前講座）を実施する。講義は共通のパワーポイント・パンフレットを使用する。

5 実施内容

(1) 講義

- ・認知症・軽度認知障害（MCI）について
- ・早期治療・適切な対応の必要性について
- ・認知症予防について

(2) 認知機能チェックテストと結果説明

(3) 希望者への相談対応

6 講座の実施

(1) 実施回数

講座は、次の回数を目標として実施するものとする。

- | | | |
|------------------|-----|------|
| ・5地域包括支援センター×10回 | 50回 | |
| ・地域福祉課 | 10回 | |
| ・保健センター | 10回 | 計70回 |

(2) 実施費用

地域包括支援センターが実施する場合は、1回10,000円

7 事業評価

事業参加者にアンケートを実施し認知症、軽度認知障害（MCI）の理解度等を集計し評価する。